

政策シート

(政策名) 魅力ある都心づくりと商業振興

(予算費目名) 商業政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

◇政策の概要

都心の活力の創出に向けて、定住・交流人口の拡大に力を入れるとともに、花や緑が豊かな景観の中で居心地の良い空間を形成し、まちなかの回遊性を高めることにより、にぎわい溢れる都心を創造します。また、市民主体の活動を積極的に推進し、魅力ある都心づくりを進めます。地域の商店街の振興に向けては自然環境や人材、産業等の様々な資源を活用し、地域コミュニティを担う元気のある商店街を目指します。

◇関連するSDGsのゴール

①都市	⑧成長・雇用								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	841,605	169,509	180,482	198,770	1,225,717
決算	799,931	144,680	152,394	173,194	
人件費(A)	102,200	81,900	74,200	82,600	84,000
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	902,131	226,580	226,594	255,794	1,309,717

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
				目標	実績	目標	実績	目標
中心市街地の空き店舗区画数	区画	39	目標	67	64	61	57	53
			実績	88	82	90	87	
中心市街地の居住者人口	人	14,840	目標	11,700	12,060	12,410	12,750	13100
			実績	11,614	11,707	11,670	11,822	
商店街が商業者以外と連携して行った事業数	件	10	目標	2	5	5	5	5
			実績	3	6	2	6	

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

都心のにぎわい創出に向けて、公共空間の利活用を積極的に推進するとともに、一定要件を満たすオフィス機能の進出支援や民間のノウハウを活かしたギャラリーモールの運用を行った。また、まちなかの回遊性向上を目指し、レンタサイクル実証実験事業を実施した。地域の商店街の振興については、まちづくりに関心のある若い人材が活動に参加しやすい環境づくりに努めるとともに、商業者の販路拡大支援に取り組んだ。地場産業の振興については、各イベントの開催を通じて多くの方々に参加・来場いただき、浜松市の地場産業を市内外に発信することで、地元企業、業界団体等への支援を行った。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

空き店舗区画数については、平成27年度に建物解体による更地増加や特定の地域における小売店舗の撤退に伴い空き店舗区画数の大幅な増加もあったが、平成30年度は、出店や退店が頻繁にある中で空き店舗区画数自体は高止まりの状況が続いているが、リノベーション等により、新たな店舗の出店により空き区画店舗の新陳代謝は図られている。事業拡大や転換など経営に前向きな事業者への支援を行い、補助対象事業の見直しや事業の掘り起こしを行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	商業振興支援事業					11,267	5,667	0.8				
2	プレミアム付商品券事業					1,082,800	1,073,700	1.3				
3	商店街振興対策事業	○	○			17,400	12,500	0.7				
4	中心市街地活性化施策調査研究事業	○	○			15,894	3,994	1.7				
5	都心機能集積支援事業	○	○	○		103,031	87,631	2.2				
6	まちなか回遊性促進事業	○	○			6,800	4,000	0.4				
7	地域産業振興支援事業	○	○			35,331	26,231	1.3				
8	都田地区活用事業					5,722	2,922	0.4				
9	産業展示館運営事業					8,352	5,552	0.4				
10	商業政策運営経費					23,120	3,520	2.8				
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,309,717	1,225,717	12.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 商業振興支援事業

◇事業目的・事業対象

事業拡大や転換など経営に前向きな事業者への支援を行うことにより、経営体質の強化された商業者を多く作り出し、地域の持続的な経済成長につなげる。また、首都圏における市の特産品等の認知度を上げ、販路拡大を図る。

◇事業の概要

① 商業者育成事業

やる気のある若手経営者に対し、経営を学ぶ機会を提供することにより、商業活性化に取り組む次世代リーダーを育成する。

② 地域商品販売力向上支援事業

事業者の経営強化を図るためセミナーを開催するとともに、講師となるバイヤーとの個別商談会を実施し、販路拡大に取り組む商業者を支援する。

③ 首都圏特産品PR事業

東京・浅草にオープンした「まるごとにつぼん」に市の紹介や特産品を販売するブースを出展し、浜松市の特産品・観光・UIJターン・中山間地域への移住・ふるさと納税等のPRを総合的に行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27		一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	657,868	8,250	13,934	8,948	5,667
	決算	653,970	7,726	12,086	8,256	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	653,970	7,726	12,086	8,256	5,667
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		10,500	4,900	6,300	5,600	5,600
人工	正規	1.5	0.7	0.9	0.8	0.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

地域の持続的な経済成長のため、事業拡大や転換など経営体質の強化を目指す商業者を支援する。併せて、首都圏における市の特産品等の認知度を上げ、販路拡大を図る。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
本事業をきっかけに販路開拓または新事業展開を検討・実施した事業者数					-		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値		3	4	5	事業廃止		
実績値		2	6	4			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
販路開拓等に関するセミナー参加者のうち、個別商談を行う者(企業)の数							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値					5	6	6
実績値				5			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ① 商業者育成事業
やる気のある若手経営者に対し、経営を学ぶ機会を提供することにより、商業活性化に取り組む次世代リーダーを育成する。
- ② 地域商品販売力向上支援事業
事業者の経営強化を図るため、セミナーの開催等を通じて販路拡大に取り組む商業者を支援する。
- ③ 首都圏特産品PR事業
東京・浅草にオープンした「まるごとにつぼん」に市の紹介や特産品を販売するブースを出展し、浜松市の特産品・観光・UIターン・中山間地域への移住・ふるさと納税等のPRを総合的に行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ① やる気のある若手経営者を次世代リーダーに育成するやらまいか商人育成事業として浜松商工会議所と共催で「浜松ネクストリーダー経営塾」を全5回開催した。
- ② 食品小売業の最新トレンドや商品開発、販路開拓に向けた具体的な事例を紹介する販路開拓・新商品開発セミナーを開催し、事業拡大に向けたヒントを得ることができた。
- ③ まるごとにつぼんにおいて、本市の特産品を販売するブースを出展するとともに、浜松フェアを開催し、特産品、観光のPRが図られた。
今後は、より一層事業者等の販売販路開拓支援に取り組んでいく必要がある。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

やる気のある若手経営者に対して経営を学ぶ機会を提供し、次世代のリーダーを育成するとともに、商業者の経営体質の強化や事業拡大を支援するため、専門家の派遣など、商品の販路開拓支援を拡大して実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

やる気のある個店支援について、商業を取り巻く環境変化を捉え、より効果的な事業実施を検討する。

事業シート (事業名) プレミアム付商品券事業

◇事業目的・事業対象

消費税・地方消費税率が低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、国の実施要領(プレミアム付商品券事業実施要領)に定めるところにより低所得者・子育て世帯向けのプレミアム付商品券の発行・販売等の事業を行う。

◇事業の概要

浜松商工会議所、市内4商工会(浜名・奥浜名湖・浜北・天竜)、及び浜松市の5者による「浜松市プレミアム付商品券事業実行委員会」を組織し、プレミアム付商品券を販売する。

- (1) 販売額 4,000円(5,000円分の利用が可)／冊
※最大5冊(20,000円)まで購入が可(25,000円に対し20%のプレミアム率)
- (2) 対象者 151,000人(想定)
※住民税非課税者:130,000人 / 3歳未満の子:21,000人
- (3) 発行冊数 755,000冊(151,000人×5冊)
- (4) 販売場所 15箇所(想定)
※市役所、7区役所、7協働センター
- (5) 利用総額 37.75億円(25,000円×151,000人)
- (6) 販売期間 令和元年10月1日から令和2年2月29日まで
- (7) 利用期間 令和元年10月1日から令和2年3月31日まで
- (8) 換金期間 令和元年10月1日から令和2年4月30日まで

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
R1	R1	国庫			-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算					1,073,700
	決算					
	国・県支出					1,073,700
	市債					
	その他					
一般財源						
一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)						9,100
人工	正規					1.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.3	⑩ 不平等	○ 10.4
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
引換券保有者の商品券購入率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値					70	-		
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
商工会議所及び商工会の会員店舗のうち商品券利用店舗の登録率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	-	
目標値					70	-		
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業シート (事業名) 商店街振興対策事業

◇事業目的・事業対象

商店会等が行うソフト・ハード両面の事業をサポートすることにより、商店街の振興と美化及び活性化を図る。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.74】

① 商業者連携促進支援事業費助成事業(補助金)

商業者が自ら課題を抽出し、課題解決のために考え実施する事業に対して費用の一部を助成する。

② 商店街施設整備事業費助成事業(補助金)

商店街の振興及び美化を図るため、商店街団体が商店街施設を整備する整備費の一部を助成する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S35	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市補助金交付規則ほか	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	35,500	21,000	12,750	10,000	12,500
	決算	10,818	6,998	9,334	6,123	
	国・県支出					
	市債					
	その他		5,000	3,700		
	一般財源	10,818	1,998	5,634	6,123	12,500
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		9,100	3,500	3,500	2,100	4,900
人工	正規	1.3	0.5	0.5	0.3	0.7
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

商店街の賑わい創出や環境美化を支援することにより、市内外からの交流人口の拡大等による活性化促進を目的とする

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
商店街が商業者以外と連携して行った事業数							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	2	5	5	5	5	7	10
実績値	3	6	2	6			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
商業者連携促進支援事業費助成事業の採択件数							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	10	11	12	13	14	15	15
実績値	8	9	8	8			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
希望商店会へのLED更新化率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	100	-		達成			
実績値	100						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
希望商店会へのLED更新化率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
希望商店会へのLED更新化率(%)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.74】

①商業者連携促進支援事業費助成事業(補助金)

商業者が自ら課題を抽出し、課題解決のために考え実施する事業に対して費用の一部を助成する。

②商店街施設整備事業費助成事業(補助金)

商店街の振興及び美化を図るため、商店街団体が商店街施設を整備する整備費の一部を助成する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

①商業者連携促進支援事業費助成事業(補助金)

目標13件に対し、商店街等課題解決事業8件、空き店舗利活用事業0件の計8件と、目標を下回った。

②商店街施設整備事業費助成事業(補助金)

3団体に対し、防犯カメラの設置費用を助成した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

商業者連携促進支援事業費助成事業(補助金)について、まちづくりに関する人材が活動の見直しや新たな事業に取り組みやすいよう補助対象事業を見直した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

商業者の高齢化や後継者不足により、商店街活動が低調になっていることから、商店街に対する支援のあり方について抜本的な見直しを行う。

補助シート (事業名) 商店街振興対策事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
74	<p>【商店街街路灯LED化 助成事業(補助金)】</p> <p>希望商店会にLED灯へ の交換費用の一部を助 成。</p>			

事業シート (事業名) 中心市街地活性化施策調査研究事業

◇事業目的・事業対象

政令指定都市にふさわしい都心の形成を目指し、「民間投資が誘発される都心づくり」や「民間活力を活用した賑わいの創出」を目指して、都心が持つべき機能を調査・研究するとともに、商業機能・業務機能・居住機能のほか交流人口の拡大に資する集客交流機能など時代に相応しい都心政策の企画・立案をする。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.8】

①公共空間利活用推進事業

まちなかのにぎわい創出を目的とし、未利用または利用頻度の低い公共空間について、民間のノウハウを活用したイベント活動や経済活動を含む事業の利活用を進めるため、環境整備や規制緩和等を行う。

②中心市街地活性化施策調査研究事業

中心市街地の活性化の指標としている歩行者通行量及び低未利用地の状況について調査を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(法令義務) 自治事務(その他)	中心市街地の活性化に関する法律	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	14,912	3,986	3,500	3,500	3,994
	決算	11,869	3,797	3,270	3,470	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	11,869	3,797	3,270	3,470	3,994
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		19,600	16,100	12,600	14,000	11,900
人工	正規	2.8	2.3	1.8	2.0	1.7
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

浜松の顔、玄関口として、にぎわいのある都心部を創出することで、持続的な発展を促す。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
歩行者通行量(休日・中心市街地8地点)(人)					Ⅲ-2(3)ア			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	101,380	103360	105340	107320	109300	114750	118,380	
実績値	90313	90958	105102	102049				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
公共施設の入場者数(人)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1,502,600	1514000	1525400	1538600	1550000	1578440	1,597,400	
実績値	1622979	1597676	1680218	1502660				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
中心市街地の居住者人口(人)					Ⅲ-2(3)ア			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	11,700	12060	12410	12750	13100	141500	14,840	
実績値	11614	11707	11670	11822				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
中心市街地の空き店舗区画数					8			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	67	64	61	57	53	44	39	
実績値	88	82	90	87				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.8】

①公共空間利活用推進事業

まちなかのにぎわい創出を目的とし、未利用または利用頻度の低い公共空間について、民間のノウハウを活用したイベント活動や経済活動を含む事業の利活用を進めるため、環境整備や規制緩和等を行う。

②中心市街地活性化施策調査研究事業

中心市街地の活性化の指標としている歩行者通行量及び低未利用地の状況について調査を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

①都心の公共空間利活用推進事業については、アクト通りにおいて、自治会等との連携により毎月1回朝市を開催し、地元のコミュニティの場として定着した。また、都心部の公共空間では物産展、朝市を始め、様々なイベントが年間を通して開催される等、公共空間が積極的に活用されている。さらに遠州鉄道高架下の旧べんがら横丁跡地の「浜松 出世の館」の後継施設として浜松魅力発信館「THE GATE HAMAMATSU」がオープンする等の新たな魅力創出が図られた。

②中心市街地活性化施策調査研究事業については歩行者通行量及び空き店舗区画数の調査を実施しており、現状については以下の通りである。

【歩行者通行量】全体として上向き傾向ではあるものの歩行量は浜松駅及び新浜松駅周辺等、限定的な場所に偏っており、回遊が十分に図られるような改善には至らなかった。

【都心の空き店舗区画数】空き店舗区画数については、リノベーション等により空区画を埋めているが、店舗の出退店のサイクルが早い改善には至っていないものの、都心における店舗の新陳代謝は図られている。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

都心の公共空間利活用推進事業については、アクト通りの月1回の朝市が、自治会、まちづくり組織及び大学等との連携により、地域の住民等、多くの方々に認知されたことで、毎回盛況になっている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

中心市街地活性化基本計画の主要事業である公共空間の利活用を推進するため、環境整備や規制緩和を継続して取り組んでいく。

補助シート (事業名) 中心市街地活性化施策調査研究事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
8	<ul style="list-style-type: none"> ・リノベーションスクール開催(3日間) ・リノベーションシンポジウム開催(3回) ・中心市街地活性化基本計画の目標指標及び各種事業等のフォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共空間の利活用推進 ・中心市街地活性化基本計画の目標指標及び各種事業等のフォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共空間の利活用推進 ・中心市街地活性化基本計画の目標指標及び各種事業等のフォローアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共空間の利活用推進 ・中心市街地活性化基本計画の目標指標及び各種事業等のフォローアップ

事業シート (事業名) 都心機能集積支援事業

◇事業目的・事業対象

民間活力による都心機能の集積を促進させるため、一定要件を満たすオフィス機能の進出を支援するとともに、都心における交流スペース、イベントスペースであるギャラリーモールについて民間のノウハウを活かした運用を行い、市の玄関口としての集客性・拠点性を向上し中心市街地の賑わいを創出する。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.8】【R1-R4重点戦略項目No.28、31】
 ①都心業務機能集積促進助成事業(都心に新たな事務所等を開設する事業者支援する。)
 一般オフィス(従業員3人以上雇用):事務所賃料の1/2以内(上限100千円/月×36月)
 大型オフィス(床面積が400㎡以上又は従業員50人以上雇用):①+②+③の合計で上限100,000千円①事務所賃料の1/2以内(上限1,000千円/月×36月)②通信回線料の1/2以内(上限500千円×36月)③新規雇用者一人当たり500千円
 ②ギャラリーモール運営事業…本市の玄関口にふさわしい都心の風格及びにぎわいを創出するとともに、歩行者の円滑な通行を確保するため設置するギャラリーモールについて指定管理者制度による管理運営を行う。
 ③都心ゲートパーク北地区事業…旧べんがら横丁北側施設内でオープンしている「浜松出世の館」が平成30年1月以降閉館となることから、新たな開発事業者選定に向けて環境整備するもの
 ④新川モール利活用推進事業…新川モールを公園区域から除外し、将来のにぎわい創出及び憩いの新たな拠点として空間活用を図るための環境整備を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H21	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市都心オフィス進出支援事業費補助金交付要綱	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	43,892	36,983	45,891	48,229	87,631
	決算	40,542	31,416	36,778	41,751	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	40,542	31,416	36,778	41,751	87,631
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		12,600	9,800	17,500	15,400	15,400
人工	正規	1.8	1.4	2.5	2.2	2.2
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

浜松の顔、玄関口として、にぎわいのある都心部を創出することで、持続的な発展を促す。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
オフィス開設費用助成件数(件/年)					-		8	28
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	1	1	1	1	2	3	4	
実績値	2	3	4	3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
ギャラリーモール利用率(区分1のみ)(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	53	54	57	60	60	60	60	
実績値	60	74	64	70				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
新川モール整備進捗率								31
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					25	100	100	
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.8】

- ①都心業務機能集積促進助成事業(都心に新たな事務所等を開設する事業者)に支援する。
 一般オフィス(従業員3人以上雇用):事務所賃料の1/2以内(上限100千円/月×36月)
 大型オフィス(床面積が400㎡以上又は従業員50人以上雇用):①+②+③の合計で上限100,000千円①事務所賃料の1/2以内(上限1,000千円/月×36月)②通信回線料の1/2以内(上限500千円×36月)③新規雇用者一人当たり500千円
- ②ギャラリーモール運営事業・・・本市の玄関口にふさわしい都心の風格及びにぎわいを創出するとともに、歩行者の円滑な通行を確保するため設置するギャラリーモールについて指定管理者制度による管理運営を行う。
- ③都心ゲートパーク北地区事業・・・「出世の館」の後継施設としての「THE GATE HAMAMATSU」を支援及び更地部分の活用を推進する。
- ④新川モール利活用し新事業・・・新川モールの利活用における基本コンセプトをもとに地域住民への説明会を展開する中で地域の合意形成を図り、整備に向けた事業を推進していく。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

- ①都心業務機能集積促進事業については、首都圏ビジネス情報センターと連携し、積極的に情報発信した結果、問い合わせも増加傾向にある中、年間3件の一般オフィスの助成が決定した。
- ②ギャラリーモール運営事業については、指定管理者の取り組みにより、利用率は非常に高い水準で活用されている。
- ③平成31年1月に「THE GATE HAMAMATSU」がオープンするとともに、更地部分については物産展の開催やイベントでの活用を図った。
- ④新川モールについては、地域住民等への説明会を開催して、整備に関して概ねの合意が得られた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

都心ゲートパーク北地区(べんがら横丁)について、「浜松 出世の館」の後継施設として、浜松魅力発信館「THE GATE HAMAMATSU」がオープンするとともに、南側更地部分については月1回の物産展の開催やイベントでの活用を図った。

また、新川モールについては新たなにぎわい創出の拠点として作成した基本コンセプトを地域住民等に説明会にて説明し、概ね合意を得られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・都心業務機能集積促進事業については、レンタルオフィス等新たな形態のオフィスが進出していることから支援内容の見直し及び要綱の改正を行なったことから、首都圏ビジネス情報センターや地元金融機関等と連携して、情報を継続的に発信していく。

・都心ゲートパーク北地区(べんがら横丁跡地)は、観光CP課が設置した「THE GATE HAMAMATSU」を積極的に支援するとともに、新川モールの利活用を推進していく。

補助シート (事業名) 都心機能集積支援事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
28	都心業務機能集積促進 助成及び新規オフィス出 店誘致	都心業務機能集積促進 助成及び新規オフィス出 店誘致	都心業務機能集積促進 助成及び新規オフィス出 店誘致	都心業務機能集積促進 助成及び新規オフィス出 店誘致
31	新川モールの整備に向 けた各事業者との摺り 合わせ及び設計等の実 施	新川モールの整備開始 に向けた遠州鉄道橋脚 の耐震補強及び電柱の 移設等の完了ならびに 整備の実施	新川モールの整備及び 供用の開始	新川モールの利活用推 進

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
8	都心業務機能集積促進 助成及び新規オフィス出 店誘致	都心業務機能集積促進 助成及び新規オフィス出 店誘致	都心業務機能集積促進 助成及び新規オフィス出 店誘致	都心業務機能集積促進 助成及び新規オフィス出 店誘致

事業シート (事業名) まちなか回遊性促進事業

◇事業目的・事業対象

①都心の来街・回遊性の向上、公共交通の利用促進、交流人口の拡大を図るため、循環まちバス「く・る・る」を運行する。
 ②まちなかの回遊性向上を通じた都心のにぎわい創出を目指し、中心市街地においてレンタサイクル実証実験を行うことで、本市特有のニーズや課題を把握するとともに、採算性を考慮した料金体系や運営方法の検証を行う。

◇事業の概要

①循環まちバス「く・る・る」運行事業
 都心の来街・回遊性の向上、交流人口の拡大等を図ることを目的に循環まちバス「く・る・る」を運行する。
 ②まちなかレンタサイクル実証実験事業
 まちなかの回遊性向上を通じたにぎわい創出を目指し、中心市街地においてレンタサイクル実証実験事業を実施することで、本市特有のニーズや課題を把握するとともに、採算性を考慮した料金体系や運営方法の検討を行う。
 ③老朽化や案内施設との不整合化が進んでいる中心市街地の歩行者案内・誘導サインについて、撤去・修繕・改修を進めることで、安全で快適な歩行者空間を創出するとともに、まちなかの回遊性を高め、都心のにぎわいを創出する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H14	-	一般会計	自治事務(その他)	-	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	36,600	49,701	58,298	52,429	4,000
	決算	36,302	48,803	48,983	45,093	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	36,302	48,803	48,983	45,093	4,000
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	3,500	4,900	5,600	2,800
人工	正規	0.5	0.5	0.7	0.8	0.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

浜松の顔、玄関口として、にぎわいのある都心部を創出することで、持続的な発展を促す。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
循環まちバスの利用者数(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	192,720	192,720	116,800	116,800	事業廃止		
実績値	180,049	171,694	97,616	82,118	—		
循環まちバス1便あたりの利用者数(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	8	8	10	10	事業廃止		
実績値	7.5	7.1	8.4	7.0	—		
歩行者通行量(休日・中心市街地8地点)(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	101,380	103360	105340	107320	109300	114750	118,380
実績値	90313	90958	105102	102049			
歩行者通行量(平日・中心市街地8地点)(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
歩行者通行量(平日・中心市街地8地点)(人)							
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

①循環まちバス「く・る・る」に対する運行助成

実施主体: 浜松市(事業計画策定・ルート設定・利用料金)

委託先: 遠州鉄道(株)(道路運送法第4条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業免許を持つ事業者)

◇運行概要

運行時間: 午前9時半～午後5時半 運行台数: 2台(北ループ1台、南ループ1台)

運行間隔: 30分(1ルート16便)

②まちなかレンタサイクル実証実験事業

実施主体: はままつ都市型レンタサイクル推進協議会

名称: Rental Cycle 「はままつペダル」

設置場所: 浜松駅東側 アクトシティ浜松南側のJR高架下 事業開始日: 平成29年1月21日

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

①循環まちバス「く・る・る」については、平成29年度に運行ルート及び料金体系の見直しを行ったうえで運行を実施したものの、事業継続の基準である1便あたりの乗車人数目標等に到達できず、また当該事業を継続できる事業者が見当たらなかったため、平成30年度をもって当該事業を廃止することとした。

②まちなかレンタサイクル実証実験事業については、「はままつペダル」を運営し、一定程度の利用もされ、多くの市民、観光客に認知されているものの、経費に対して売り上げが伸びなかったため、大幅な赤字事業となったため、平成30年12月をもって実証実験事業を終了した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

①循環まちバス「く・る・る」については、平成29年度に運行ルート及び料金体系の見直しを行ったうえで運行を実施したが、目標基準の未達、当該事業を実施できる事業者がないことから、平成30年度をもって終了することとした。

②まちなかレンタサイクル実証実験事業については「はままつペダル」を開設して利用客の拡大を図ったが、経費に対して売り上げが少なく、大幅な赤字事業となったため、平成30年12月をもって実証実験事業を終了した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

①循環まちバス「く・る・る」については、平成30年度をもって事業を終了する。

②新たな回遊性促進策としてのレンタサイクル事業のニーズはあるものの、単独事業としては難しい事業であったことから、今後は民間事業者による運営として事業を展開していく。

③令和元年度以降、まちなかの案内サインの撤去、改修等を実施する。

事業シート (事業名) 地域産業振興支援事業

◇事業目的・事業対象

浜松市の地域産業である繊維、オートバイ、楽器産業の振興を図るため、地域企業の優れた製品や高いものづくり技術、他に類を見ない企業の集積を、市内外に広く発信する機会を提供し、地域企業、業界団体等の販路開拓、販売促進支援を行い、産業振興を図る。

◇事業の概要

【繊維産業振興事業】

浜松シティファッションコンペの実績やネットワークを活用し、産地の活性化や認知度の向上を目指し、綿織物産地である浜松の情報を内外に広く発信する。

【バイクのふるさと浜松推進事業】

世界を代表するオートバイメーカー「スズキ、ホンダ、ヤマハの創業の地」ならではのイベント等を年間を通じて実施し、オートバイの需要拡大、交通安全を啓発する。

【楽器産業振興事業】

楽器フェアに浜松市ブースを出展し、地域中小企業とともに楽器のまち浜松をPRする。

【浜松市地域産業情報発信事業】

繊維、オートバイ、楽器産業等の集積を個々の企業の魅力、強みを集約するWEBにより見える化し、地域産業をブランドとして訴求し、中小企業の活動を支援する。

【地場産業振興事業】ハママツコレクション、注染・ゆかた・和装展、静岡県郷土工芸品展等販路開拓を目的とした活動への負担金。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S28	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市地場産業等振興事業費補助金交付要綱ほか	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	33,500	29,780	28,212	32,227	26,231
	決算	33,500	29,780	28,080	30,954	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	33,500	29,780	28,080	30,954	26,231
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		19,600	19,600	13,300	16,100	9,100
人工	正規	2.8	2.8	1.9	2.3	1.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

地域企業の優れた製品や高いものづくり技術、他に類を見ない企業の集積を、市内外に広く発信する機会を提供し、販路開拓・促進を支援することにより産業振興を図る。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
浜松シティファッションコンペ応募件数					-		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	4,500	4,500	4,500	—	—		—
実績値	4,240	3,846	3,302				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
バイクのふるさと浜松来場者数					-		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	20,000	20,000	24,000	24,000	24,000	25,000	25,000
実績値	22,000	22,500	23,000	24,000			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
粗付加価値額(千万円):従業員4人以上の事業所					I-1(1)イ		
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値	87,575	88,450	89,951	91,131	92,953	98,642	104,664
実績値	75372【H26】	71028【H27】	71405【H28】	77539【速報】			
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No	
						H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【地場産業振興支援事業】
地場産業の振興を目的とした事業に対して、負担金や補助金などの助成を行い、事業の推進を図った。

【繊維産業振興事業】
浜松シティファッションコンペの実績やネットワークを活用し、産地の活性化や認知度の向上を目指し、綿織物産地である浜松の情報を内外に広く発信することにより、本市繊維産業の振興を図った。

【バイクのふるさと浜松推進支援事業】
世界を代表するバイクメーカー「YAMAHA,HONDA,SUZUKIの創業の地」ならではのイベント等を年間を通じて実施して、オートバイ産業の振興及びオートバイの需要拡大につなげるため、浜松から「バイク文化」を全国へ発信すると共に、バイクの持つすばらしい魅力を広め、さらには交通安全の啓発を行った。

【浜松市地域産業情報発信事業】
繊維、オートバイ、楽器産業等の集積を個々の企業の魅力、強みを集約するWEBにより見える化した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・綿織物産地である浜松の情報を掲載した冊子を刊行した。
- ・「バイクのふるさと浜松2017」では、国内3メーカーに加え、海外10メーカーの現行バイクを展示し、キッズバイク体験や二人乗り体験など、免許の有無に関わらずバイクの魅力を体感できるイベントを開催した。来場者は昨年を若干上回り23,000人であり本市が実施するバイクイベントへの関心の高さを伺うことができ目標を達成した。
- ・浜松市地域産業情報発信事業として「浜松市ものづくり企業ナビ SOU(そう)」の運用を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

繊維産業振興において、平成29年度をもって廃止した浜松シティファッションコンペの実績等を活用し、新たに織物産地としての認知度向上や事業者の販路開拓・拡大に繋がるような各種支援を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

地域企業のニーズ把握にあわせ、既存事業の見直し、新事業の計画、実施、チェックを行い、実施事業の最適化を図る。

事業シート (事業名) 都田地区活用事業

◇事業目的・事業対象

テクノポリス都田地区の市有地について、未分譲地の解消とセンター用地(Bブロック)の早期有効活用を図る。

◇事業の概要

- ・テクノポリス都田地区のセンター用地Bブロックの活用について、創造都市・文化振興課への移管を円滑に行う。
- ・未分譲地(商業用地)の売却を図る。
- ・テクノポリス都田地区の市有地未分譲地およびセンター用地Bブロックの維持管理を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	6,167	6,167	6,167	4,937	2,922
	決算	4,050	4,050	3,910	4,486	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	4,050	4,050	3,910	4,486	2,922
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	3,500	2,100	2,100	2,800
人工	正規	0.5	0.5	0.3	0.3	0.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.a
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

テクノポリス都田地区のセンター用地について、市民ホール建設に向け創造都市・文化振興課への移管を円滑に行う

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					-		H27~H30	R1~R4
市有地分譲区画数(区画)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	11	11	11	11	11	11	11	
実績値	0	0	0	0				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
センター用地(Bブロック)活用の進捗率(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	100	100	100	100	達成	—	—	
実績値	0	0	0	100				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ・テクノポリス都田地区のセンター用地Bブロックの活用について、創造都市・文化振興課への移管を円滑に行う。
- ・未分譲地(商業用地)の売却を図る。
- ・テクノポリス都田地区の市有地未分譲地およびセンター用地Bブロックの維持管理を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

テクノポリス都田地区の市有地未分譲地(商業用地)については、複数の事業者から引き合いがあったが、契約に至ることはできなかった。
センター用地(Bブロック)については、市民ホール建設に向け、創造都市・文化振興課に移管を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

テクノポリス都田地区の市有地未分譲地及びセンター及びセンター用地Bブロックの草刈り、進出企業案内看板などの維持管理については、計画的に実施し適切に維持管理している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

商業用地について、分譲を進めながら、市民ホールとの一体的な活用を模索・調整する。

事業シート (事業名) 産業展示館運営事業

◇事業目的・事業対象

展示館・見本市の会場を提供し、地域企業の販路拡張・情報交換・人的交流を支援し、産業の振興を図る。

◇事業の概要

無料駐車場を備えた郊外型大型産業展示施設「浜松市総合産業展示館」の管理運営を指定管理者制度により実施する。大規模イベント開催時の駐車場不足を解消するため、近隣民地を借り上げて利用者に第二駐車場として提供する。必要に応じて施設・設備の老朽化に伴う少額の修繕・改修を行い、利用者の安全確保や施設の利用促進を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S46	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市総合産業展示館条例、	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	10,186	7,777	8,419	33,522	5,552
	決算	6,267	7,384	7,394	29,169	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	6,267	7,384	7,394	29,169	5,552
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		3,500	2,800	2,100	2,100	2,800
人工	正規	0.5	0.4	0.3	0.3	0.4
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

展示館・見本市の会場を提供し、地域企業の販路拡張・情報交換・人的交流を支援し、産業の振興及び雇用の創出を図る。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
本館利用稼働状況(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	35	35	35	35	35	35	35	
実績値	40	41	41	41				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
北館利用稼働状況(%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	40	35	35	35	35	35	40	
実績値	31	32	30	30				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

無料駐車場を備えた郊外型大型産業展示施設「浜松市総合産業展示館」の管理運営を指定管理者制度により実施する。大規模イベント開催時の駐車場不足を解消するため、近隣民地を借り上げて利用者に第二駐車場として提供する。必要に応じて、老朽化に伴う施設・設備の少額の修繕・改修を行い、利用者の安全確保や施設の利用促進を図る。
また、今後30年～40年にわたり、当該施設を使用できるようにするための、長期修繕計画を策定する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

浜松市総合産業展示館の管理運営を指定管理者制度により実施し、販路拡張や技術の向上を目的に開催される各種見本市等の会場として活用され、地域産業の活性化に貢献している。
また、今後30年～40年にわたり、当該施設を使用できるようにするための、長期修繕計画を策定した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜松市総合産業展示館利用者の安全確保や施設の利用促進を図るため、本館の空調整備を実施した。
併せて、当該施設の長寿命化を図るため、長期修繕計画を策定した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

地域産業の振興を図るうえで、大型展示施設は必要不可欠であるため、本館及び北館の躯体の状況調査及び
長期修繕計画を踏まえたうえで、効果的な施設・設備の修繕等を実施し、指定管理者制度により効率的な管理
運営を実施していく。

事業シート (事業名) 商業政策運営経費

◇事業目的・事業対象

産業振興課商業振興担当業務を円滑に進める。
商業集積ガイドラインに適合した土地利用の促進と大規模小売店舗立地法の適切な運用を図る。

◇事業の概要

- ① 産業振興課商業振興担当業務における組織運営経費。
- ② 商業集積ガイドライン及び大規模小売店舗立地法の運用。
- ③ 商業集積審議会及び大規模小売店舗立地審議会の運営。
- ④ 外郭団体(株式会社なゆた浜北、浜松ターミナル開発株式会社)との調整。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	法定受託事務 自治事務(その他)	大規模小売店舗立地法ほか	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	2,980	5,865	3,311	4,978	3,520
	決算	2,613	4,726	2,559	3,892	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	2,613	4,726	2,559	3,892	3,520
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		20,300	18,200	11,900	19,600	19,600
人工	正規	2.9	2.6	1.7	2.8	2.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ① 産業振興課商業振興担当業務における組織運営経費。
- ② 商業集積ガイドライン及び大規模小売店舗立地法の運用。
- ③ 商業集積審議会及び大規模小売店舗立地審議会の運営。
- ④ 外郭団体(株式会社なゆた浜北、浜松ターミナル開発株式会社)との調整。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工